

糖尿病フェスタ

糖尿病は自覚症状がなく、自分が糖尿病だと気づきにくい病気ですが、進行すると様々な合併症を起し、腎臓障害で人工透析になる方や、視覚障害で失明する方もいます。

糖尿病は、日ごろの適切な生活習慣が大切です。各分野の専門家が糖尿病について、皆さんの相談や質問にわかりやすくお答えいたします。

この機会に糖尿病の知識を一緒に学び、正しく理解しませんか？糖尿病でない方もご参加ください！

日時：2023年11月19日（日曜日）

12:30～ 受付開始

13:00～15:00 各コーナーによる相談・展示等

15:00～16:00 講演会

場所：小倉第一病院 ※感染予防のためマスクの着用をお願いします

北九州市小倉北区下到津1-12-14（アクセス方法は裏面へ）

参加費 無料

総合受付

※企業展示もあります

検査・相談

測定コーナー

身長・体重・血圧・血糖測定

栄養コーナー

あなたの食事をチェックします

栄養クイズ、おやつ糖分展示

眼科コーナー ★整理券が必要です

眼科医による相談、眼底写真を撮影し差し上げます

歯科コーナー

歯周病は糖尿病を悪化させます

あなたのお口の状態を把握していますか？

いびき、無呼吸、睡眠コーナー

検査機器、治療機器展示、治療体験

日本睡眠学会専門技師：いびき、無呼吸、睡眠相談

睡眠不足は、糖尿病、高血圧、認知症の原因の一つです

※必ず受付をしてください 問診票記入

眼底写真撮影(先着40名)、動脈硬化検査(先着50名)

★希望する方には整理券を配布します

動脈硬化検査コーナー ★整理券が必要です

動脈硬化の進行度がわかる CAVI 検査

糖尿病療養指導士(CDE)コーナー

フットケアとフレイル予防のための運動

相談コーナー

医師：糖尿病治療等の相談

糖尿病療養指導士(CDE)

栄養士：栄養相談

薬剤師：薬の相談

理学療法士：運動の相談

臨床検査技師：検査の説明、相談

日本糖尿病協会北九州懇和会コーナー

患者会の情報提供等

講演会

「フットケア、はじめの一步

～自分の足で歩き続けるために～」

講師：小倉第一病院 副院長・形成外科部長 石井 義輝 先生

「アドボカシー」をご存知ですか？

2023年の全国糖尿病週間のテーマは「アドボカシー ～偏見にNO!～」です。アドボカシーとは、「権利擁護」や「代弁」などという意味を持つ言葉です。糖尿病領域においては、患者の権利を守り、不当な偏見をなくすために医療者と患者が共に行政や社会の理解を得るために行う活動のことです。



小倉第一病院へのアクセス

■●■■■■…主なバス路線・番号

※2021.1月時点のバス路線情報より



お問い合わせ先 (月～金曜日:12時～16時)

新小倉病院 糖尿病センター TEL 093-571-1031

主催：第49回北九州市民糖尿病教室実行委員会

共催：北九州市 北九州市医師会 北九州市歯科医師会 北九州糖尿病研究会
福岡県栄養士会北九州支部 福岡県看護協会北九州支部 北九州懇和会
日本糖尿病協会福岡支部 北九州CDEの会

後援：福岡県臨床衛生検査技師会



日本糖尿病協会マスコットキャラクター「マルくん」